



耕心 ～夢追いかけて～

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第25号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年10月8日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



前期の反省 学年・生徒会代表

(ほぼ原文通り)



終業式での各学年・生徒会代表の「前期の反省」を紹介します。

1年生：久田虎珀さん

中学校生活初めての前期が修了し、少しずつ学校生活にも慣れてきました。学習面では、新しく始まった英語科の授業



をはじめ、小学校の時よりも内容もレベルアップした他の教科の授業にも頭を抱えることができました。第二回定期テストでは思うような点数が取れず、中学校生活の厳しさを学びました。5月の体育大会では、小学校よりも高度な集団行動を行い、みんなで一致団結して取り組むことができました。7月の野外活動では、たくさんの方々にお世話になり、シーカヤックや飯盒すいさんなど楽しい活動を行うことができました。生活面に関しては、生徒総会などの行事の場面や日頃の生活の中で、周りに迷惑をかけてしまい、注意

されることがあったのが反省点です。今後は注意されないようにみんなをまとめていきたいし、一年生一人一人も気を付けていかなければならないとおもいます。始まったばかりの中学校生活で、小学校の頃よりも充実した学校生活が送れるように後期も頑張っていきたいです。

2年生：七種康生さん

前期が終わり中学校生活も振り返り地点となりました。僕たち2年生も昨年度と比べ成長できたと感じることがいくつかあります。1つ目



は、時間を意識して生活できるようになったことです。僕は、特に3分前着席を心がけて生活しました。1年生の頃は、3分前着席ができていない人が多く、先生方に怒られることもたくさんありました。しかし、今では学級委員や学習部を中心に呼びかけを行い、3分前着席だけでなく、帰りの会や掃除など、時間を守って生活できるようになりました。

学習面では、授業中の態度や家庭学習の提出など、昨年度より学習に対して意欲的に取り組む人が増えたことです。2年1組は家庭学習の提出率はほぼ100%です。しかし、完全な100%にはなっていない日もあることが課題です。家庭での学習を習慣にし、学校で学んだことをしっかりと復習していきたいと思います。また、来年は僕たちも受験生です。家庭での学習を習慣づけるだけでなく、学習の内容もより充実したものにしていかなければいけないと思います。

生活面や学習面の課題は、まだまだたくさん残っています。後期は学年全体で、課題点を改善し、学校の中心・リーダーとなれる2年生に成長したいと思います。

3年生：松瀬海仁さん

僕達3年生は、受験に向けて大切な半年を過ごし終わりました。僕達がこの半年で一番に成長したのは、勉強や物事に取組む姿勢だと思います。僕達が1・2年生の時は、授業中に話を聞けなかったり、集中して勉強に取り組んだりできていなかったと思います。授業中に「静かに!」と注意されることがたくさんありました。しかし3年生になって気持ちが引き締まってきて授業などに真剣に取り組む姿が多くなってきたと思います。



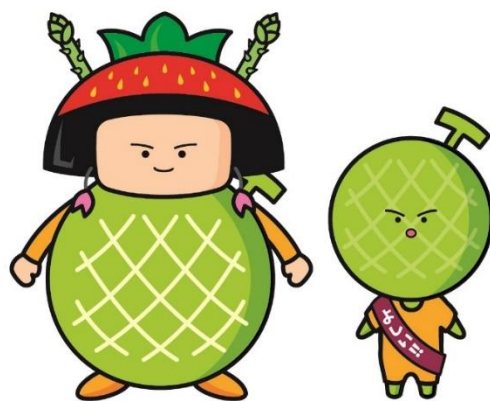
また、僕達は責任感がとても強くなりました。2年生後半から部活動のキャプテンになる人が増え、生徒会役員選挙では積極的に立候補しました。そして、部活動や生徒会活動の中で、1・2年生を引っ張ってきました。このような、責任感のある役割を自分が持つことで、自分のことだけでなく、まわりのことも考えながら行動できるようになったと思います。そして、僕は責任感が強くなると、自信に繋がると感じました。自分の役割に責任感を持って、取り組みつづけることで、結果や成果が見えてきます。その結果や成果は、自分が達成できた物だという思いが自信になると考えたからです。後期も、普段の生活や行事など、最後まで責任を持って行動していきたいです。その中でもまだ頑張らなければならないこともあります。それは、服装の乱れを直すことと、受験に対する危機感を持つことです。僕達の中には、服装で注意される人が多いと思います。服装の乱れは心の乱れにつながるので、受験にも影響すると思います。僕達は、この半年で成長した点と改善点を知ることができました。あと、半年を受験生として、もっと成長していきたいです。そして、吉井中の顔として、一人一人意識を高めていきたいです。

生徒会：江口宝輝さん

昨年度は、コロナの影響で、さまざまな活動に制限が多くありました。今年度もコロナの影響もあり、感染対策を講じながらですが、市中体や体育大会などの行事を実施することができました。体育大会では、雨の中ではありますが、生徒全員が最後まで諦めることなく、競技に参加していました。また、3年生が僕

たち下級生を引っ張ってくれ、思い出に残る体育大会となりました。生活面では、校門前でワンストップあいさつをできる人が多かったことです。また、生活専門委員会が掲げた「あいさつ」との合言葉のように、『相手より先に』あいさつをする人が増え、嬉しく感じます。あいさつ運動だけでなく、各専門委員会の活動や具体策をしっかりと実施してくれていると感じます。しかし、課題点もいくつかあります。1つ目は、校門以外の場所でもワンストップあいさつができていないか、というところです。廊下や教室では、先生方からあいさつをされてからしたり、あいさつの声が小さかったりする姿が見られます。校門前だけでなく、日頃から「相手より先に」「大きな声で」あいさつをしてほしいと思います。

2つ目は、校舎内での過ごし方です。校舎内で、大きな声を出したり、教室内や廊下で暴れたりなど、ほかの人に迷惑をかけている人が多く見られます。学校は、多くの人が過ごす公共の場です。他の人のことを考え、生活してほしいと思います。また、後期は3年生が受験に向かっていきます。3年生が全員志望校に合格し、笑顔で卒業するためにも、3年生だけでなく、1・2年生も3年生に協力すべきだと思います。後期は、前期での課題を改善し、よりよい吉井中学校にしましょう。



**前期はよく頑張ったね！
後期も頑張ろう！**

